

総社市立 総社西中学校

学校全体で行う家庭での自主学習「家ベン」 の定着に向けた取組を紹介します！

ここが
ポイント



- 学校(学級数27、生徒数778人)全体だからこそできる取組
- C, D層をターゲットとした家庭学習習慣定着に向けた取組
- 学習優先を全生徒、全職員が共通理解した取組

1日の
流れ

①毎日、課題プリントを受け取る。

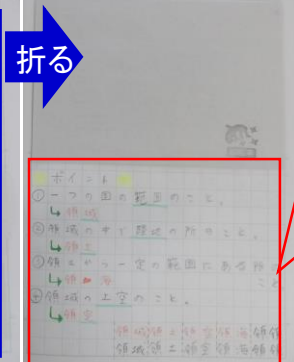
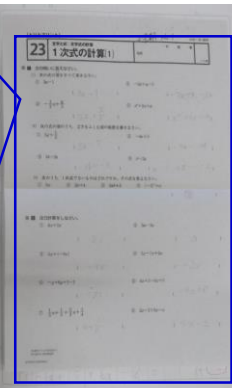
②家ベンを毎日最低1ページ行う。

③毎朝全員提出。

④できていない場合は、放課後に学習し、完成させる。

生徒と教職員の信頼関係が基盤

・課題プリントをやり、ノートに貼り付け、半分に折る。



・残りの半分は自分で考えた学習を行う。

・朝、担任が1ページ以上できているかどうかチェックし、できていない生徒へ放課後学習を伝える。

・放課後までに部の顧問へ放課後学習があることを生徒が自ら伝える。(部活より優先)
・終了し次第、部活動へ参加。
・学年団の教員数名で指導。
・顧問も同一歩調で「家ベン」の大切さについて指導を行う。

※プリントはデータベースを利用し教師が用意し、業務アシスタントが印刷する。

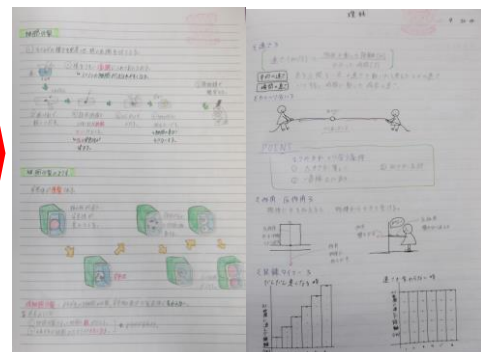
3年生の見本となる「家ベンノート」を、3年生が1年生へポイント付で紹介(ピア・サポート)

3年間の
流れ

1年生
プリントを利用し「家ベン」の習慣を定着させる。

2年生
3学期からプリントをなくし、各自で考えた「家ベン」に移行する。(希望者にはプリント配付)

3年生
自分で考えた「家ベン」を行う。希望者は「チャレベン」(応用プリントを用いる)を行う。



3年生のノート

※詳しい内容については所管の教育委員会(市立学校)、津山教育事務所(町村立学校)にお問い合わせ下さい。